

令和4年2月 4日（金）



感染力が極めて強いオミクロン型変異株による第6波は、県内全域を飲み込み、1月27日（木）から2月20日（日）まで、本県も「まん延防止等重点措置」が適用されることとなりました。

県内の学校や幼児施設において、クラスターが多数確認されていることもあり、重点措置区域以外でも感染防止対策の更なる強化を行わなければならなくなりました。学習活動におけるマスク着用の徹底については、「体育の授業も含め、学習活動はマスクを着用してできる内容に限定すること」という要請がありまし

た。また、校外学習等については、「重点措置区域以外でも、実施の可否を慎重に検討し、指導者は当該校の教職員に限定すること」という要請がありました。

優勝をねらって、放課後のクロカン練習に励んできましたが、13日（日）に予定していた町小学生スキー大会の中止が決定しました。また、一昨年度は雪不足で、昨年度は新型コロナの影響で実施できなかったスキーフェスタも、3年ぶりに本日4日（金）に予定していましたが、2日（水）のスキー教室（3回目）と共に中止せざるを得ませんでした。

しかしながら、これまで身に付けたクロカンとアルペンのスキー技能は、必ずや来年度以降の大会や生涯スキーに役立ち、雪国での生活を彩る財産になると確信しております。感染が落ち着いたら、クロカンスキーを履いて八幡山桜の森（はなのもり）へ向かい、みんなで春の訪れを楽しみたいと思います。また、雪を楽しみ、体力を伸ばすためにも、放課後は再び、手ノ子スキー場でアルペンスキーを楽しんでほしいと思います。

令和4年2月10日（金）



本日の昼休みに、6年生の子どもたち6名と教職員10名の卒業記念写真を撮影しました。毎年、卒業生の保護者様から学校に卒業記念品としてご寄贈いただく写真です。

昨日9日（水）の職員会議で、感染リスクをできるだけ減らし、子どもたちの安全・安心と学びの保障を最優先した教育活動を卒業式まで継続していくことを確認しました。17日（木）のPTA総務委員会は、子どもたちのGIGA端末による「Teams」を活用したビデオ会議としました。22日（火）の授業参観も、子どもたちのGIGA端末による「ロイロ・ノート」を活用したオンデマンド配信としました。また、授業参観後に予定されていた学級懇談会と、24日（木）の学校運営協議会は紙上開催という形で実施することにしました。

いずれも、本県のまん延防止重点措置の20日（日）までの解除が見通せない中での苦渋の決断です。6年生にとっては、「一生に一度」の小学校卒業式です。どのような感染状況下であっても、卒業生への祝福の思いがしっかり詰まった卒業式を挙行し、中学校へ巣立たせることができるよう、新型コロナウイルス感染症への対応に注力してまいります。

令和4年2月14日（月）



本日は、今年度最後の委員会活動日でした。活動に入る前に全校生を集め、担当教諭が来年度の委員会活動について以下のような説明をしました。

今年度は、4年生以上の12人が、3つの委員会で活動してきました。来年度は現在の6年生の6人が卒業するので、委員会活動を見直すことにしました。変更点は2つあります。①3年生以上の全校生が委員会に所属します。②3つの委員会（報道委員会、さわやか委員会、運営委員会）を2つ（報道委員会、図書委

員会）に減らします。一つの委員会を7人または8人に増やし、できるだけたくさんのメンバーで話し合い、よりアイデアのある委員会活動にするためです。

また、各クラスの学級委員が集まる代表委員会は継続します。今まで通り、月目標の具体策を話し合ったり、反省を話し合ったり、各クラスで出た意見を発表する他、全校集会の司会進行も担当します。

さらに、現在のロング昼休みの時間帯を使って、月に1回程度、「手ノ子小全校会議」を開く予定です。今年度は、運営委員会があいさつ運動やアルミ缶回収を全校に呼びかけていました。来年度は、全員がホールに集まり、手ノ子小で今頑張りたいことを話し合います。中心になるのは新5・6年生の6人です。

以上のような変更点を踏まえて、最後の委員会では、今年度の課題や来年度に向けて続けてほしいことなどを話し合っていました。手ノ子小学校をより楽しい学校にしようと、少ない人数で3つの委員会をリードしてきた6年生。この経験を、中学校の生徒会活動に生かしてほしいと思います。

令和4年2月16日(水)



本日の昼休みの時間に、各家庭1名の子どもたちにG I G A端末を持って集まってもらいました。全家庭一斉ビデオ会議テストのお願いをするためです。

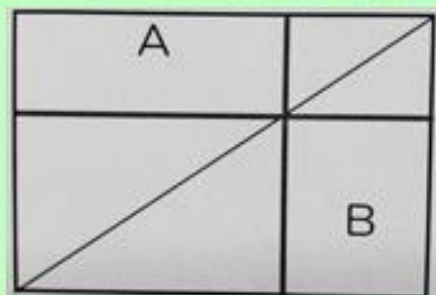
本日G I G A端末を自宅に持ち帰り、午後6時半からの5分間、一斉テストに協力してくれるように、教頭が子どもたちにお願ひしました。各クラスでの活用が進んでおり、パスワードを入力して「Teams」を立ち上げるまでスムーズに操作を進めることができ

ました。「2月16日接続テスト」で会議中の」のバーの「参加」をタップすると、教頭と14名の子どもたちの顔が映し出されました。マイクから自分の声が漏れないように、マイクマークを「オフ」にすることを確認し、短時間で終了しました。午後6時半からの接続テストでは、家の中がはっきり映らないよう、背景をぼかしたり壁紙を使ったりすることを教頭が改めて指導しました。

明日17日(木)の午後6時半からは、子どもたちが前日持ち帰ったG I G A端末を使い、保護者による全家庭一斉ビデオ会議テストを行う予定です。校長からは、新型コロナウイルス感染症への特別警戒を要する状況が続いている中での教育活動の様々な変更等について説明します。また、教頭からは、万一の臨時休業に備えて週末の持ち帰りを始めたG I G A端末の使い方について改めて確認します。その後、P T A総務委員会をオンラインで開催する予定です。

コロナ禍で教育活動を持続させていくために、I C Tの活用が一気に進んでいます。子どもたちはもちろんのこと、教職員、そして保護者の皆様も共に学び、生きて働く知恵としていきたいと思ひます。

令和4年2月18日（金）



算数の授業づくりについて、定期的にご指導いただいている学校教育指導専門員から、一昨日、5・6年生が算数教室を開いていただきました。

学校教育指導専門員は、対角線を挟んでできた横長の長方形Aと縦長の長方形Bの面積を比べるという問題を提示されました。ほとんどの子どもが「面積は等しい」と予想しましたが、理由を説明できるか尋ねられると、返答に困っていました。

すると、学校教育指導専門員は、「AとBの部分しか見ていないと気が付きませんよ。大切なのは、AとB以外の三角形の部分です。」と言って、図形の構成要素に着目する数学的な見方・考え方をヒントとして教えてくださいました。

最後に、次回の算数教室に向けて、1辺が15cmの教育折り紙を使った面積の問題を提示してくださいました。こちらも、「えっ、何でだろう？」と子どもたちが考えることが楽しくなるような問題でした。

次回も数学的な見方・考え方を働かせて学んでほしいと思います。